

～半導体デバイスを信州から！～ 信州酸化ガリウムデバイス化研究会 入会者募集のご案内

信州大学が中心に開発をした「**酸化ガリウム (β -Ga₂O₃) 結晶育成技術**」をコア技術とし、産総研の「**ミニマルファブ**」を用いた産学官連携プロジェクトを開始します。

会員区分

正会員：原則県内で具体的な技術開発を行う計画を有する法人
(教育機関、公的機関またはそれに準ずる機関等は除く)
情報会員：広報活動と情報収集活動のみを行う法人

活動内容

信州大学等で開発された酸化ガリウム結晶を基に、半導体用のウエハ、環境負荷低減や競争力強化を実現する半導体デバイスの具現化を目指す技術開発を行います。

正会員を対象とした主な活動

酸化ガリウム結晶のスライス、研磨、カット等の加工技術の開発

酸化ガリウムのミニマルウエハの製造技術の開発

酸化ガリウムウエハを使用した半導体製造技術の開発

酸化ガリウムデバイスを使用したの集積回路に係る技術の開発

全会員を対象とした主な活動

パワー半導体に係るセミナーの開催 支援制度等の情報提供 等

事業負担金 (4月～3月)

正会員：10万円 (教育機関、公的機関等は免除) 情報会員：5万円

問合せ先
・
提出先

公益財団法人 長野県テクノ財団
イノベーション推進部 環境・エネルギー産業支援室
Tel : 026-226-8101 e-mail : kan.ene@tech.or.jp

入会条件

本研究会は、酸化ガリウムを使って、長野県発の独自次世代半導体デバイスの創出へ向け、ご一緒に力を尽くしていただける皆様、かつ本会会員同士可能な限り協働して半導体デバイスの創出を目指していただける皆様を募っております。

新しい素材であるため、その実現は様々な困難に遭遇することが予想されます。困難を皆様と一緒に乗り越えてゆかなければなりません。そのため、ご入会に際しては下記条件を設けさせていただいております。

1 組織体としてご賛同くださること

本来事業とどのように整合性を取るのかについて、組織方針をお持ちいただく必要があります。

2 ミッションの設定

酸化ガリウムの半導体デバイス創出を実現するための自らのミッションを設定していただきます。そのミッションの遂行にかかるコストのための予算は、原則自らが用意をお願いいたします。

ただし、本会は公益財団法人長野県テクノ財団が設置する組織ですので、公的予算等も獲得しながら酸化ガリウムの半導体デバイス創出の実現を目指します。

3 ご担当者様の選任

本会に常時ご対応くださる方を担当者として1名、また、担当者を補佐する方を担当者補佐として1名以上選任していただきます。各種会議には必ず担当者が出席してください。担当者と担当者補佐は、どちらも本会への対応がスムーズになるようにコミュニケーションを欠かさないようお願いします。

4 ご入会書類の提出と、運営委員会での審査

ミッションが本会とマッチしているか等が審査の要点です。

主な提出書類は、NDA契約書、入会申込書、参加承諾書（個人毎）となっております。

5 情報会員

上記ミッションを遂行するほどには組織内合意が取れていなくても、本会の活動に十分に賛同し、一緒に普及に努めたいという場合には、情報会員として研究会に入会いただくことができます。

ただし、情報会員には酸化ガリウムの半導体デバイス開発情報開示、知的財産の有利な活用などはありません。

どうぞご理解のほど、よろしくお願いいたします。

ご入会をご希望の場合、まずは下記事務局へご相談ください。

お問い合わせ先 公益財団法人 長野県テクノ財団 イノベーション推進部 環境・エネルギー推進室
TEL:026-226-8101 E-mail kan.ene@tech.or.jp